



NPO 法人

千葉自然学校



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です



実体験でリアルに学び 自分ごととして考える

SDGs プログラム



対象：小学4年生以上
(成人の団体も可)

※内容は年齢に応じて対応いたします。

何ができるようになるか
SDGs という世界課題を自分ごとに捉え、具体的なアクションを起こすことができるようになる。

「社会に関かれた教育課程」の実現

何を学ぶか
自然界の循環、自然と人のつながり、人と人とのつながりについて学ぶ。

どのように学ぶか
自然や集団の中に身を置き、そこでの実体験を通じて得たことから学ぶ。

学校現場だけでは難しいテーマも、地域のプロの指導者や豊かなフィールドを活用することで学びを深めることができます。



= 新学習指導要領の基本的な理念「資質・能力の三つの柱」「カリキュラム・マネジメント」など、新しい学習指導要領における重要な事項の全ての基盤となる考え方が「社会に関かれた教育課程」です。

世界とつながる 砂浜ビーチコーミング



南房総を象徴する透明度の高いきれいな海を自分の五感で感じます。
また、海に打ちあがる漂着物から、水の循環や海洋汚染問題などについて考えます。

プログラム写真

【目的】 砂浜の漂着物から、プラスチックゴミ問題、海と森のつながり、自分の生活とのつながりに気づく

【場所】 南房総市大房岬自然公園 【実施時間】 約 2 時間

【受入態勢】 1 クラス(35 人まで)に 1 人の指導者

【体験内容】

- ・大房岬の自然に関するガイド
- ・砂浜に漂着する貝殻などの収集・観察(ビーチコーミング)
- ・水の循環から海と世界と皆さんのつながりを考える

【スケジュール例】

時間	内容	詳細
20分	あいさつ・概要説明	・写真や漂着物サンプル等を用いて概要説明 ・グループごとに備品の受け渡し
60分	ビーチコーミング	・グループごとにビーチコーミング
20分	ふりかえり まとめの話	・クラスごとに共有 ・漂着物の旅路や海の現状について説明 ・「海の豊かさ」を守るために、私達ができることは？
20分	片付け	・ゴミの仕分けと備品返却

【SDGs との関連性】



「12.つくる責任つかう責任」捨てられたゴミはどこへ行くのか、適切に処理されないとうなるのか。海に流れ着くプラスチックゴミはどこからきてどこで作られているのか。製品の開発や廃棄物の処理について学ぶ。



「14.海の豊かさを守ろう」水の循環と海洋環境汚染、気候変動と海洋生物の変化について知り、自分と海、海と世界のつながりについて知る。



「15.森の豊かさを守ろう」大房岬の森の状況を知り、森の豊かさがと海の豊かさが相互に関係していることを学ぶ。



※荒天時、室内でスライドショーを用いた「環境教育プログラム」を実施することも可能です。

未来のための森づくりプログラム



森の再生のために、土中に水が浸透し、回復するための整備作業を体験します。
森の再生は土の状態を改善することが重要だということを体験的に学びます。

プログラム写真

【目的】 大房岬の水と空気の循環に気づき、森と海がつながっているということを理解する

【場所】 南房総市大房岬自然公園 【実施時間】 約 2 時間

【受入態勢】 1 クラス(35 人まで)に 1 人の指導者

【体験内容】

- ・土壌の環境改善のための作業
- ・森、土、海、のつながりから、豊かな自然環境を守るために何が出来るか考える

【スケジュール例】

時間	内容	詳細
50分	あいさつ・概要説明 園内ガイド	・森の様子や大房岬の自然について解説 ・水の循環について解説
55分	森づくりプログラム	・木の養生「土の中に空気と水の循環を作ってみる」 グループごとに、木の周りの土に穴を開ける、 落ち葉を敷き詰めていく等。
15分	まとめの話 片付け	・森と海のつながりについて考えてみる ・森林の役割について考えてみる

【SDGs との関連性】



「13.気候変動に具体的な対策を」自然災害に耐える森づくりが必要なことを学び、地球温暖化の防止の観点から持続可能な森づくりの在り方について考える。



「14.海の豊かさを守ろう」豊かな森をつくることで、海へ流れ込む水を豊かにし、海の環境や海洋資源を守ることにつながる。



「15.森の豊かさを守ろう」森における樹木の役割や、土の状態を観察することで、陸の生き物にとって、森が重要だということに気づく。



※荒天時、室内でスライドショーを用いた「環境教育プログラム」を実施することも可能です。

安全な水の確保を考える川遊び



プログラム写真

川の生き物や自然を観察することで川のきれいさを知り、川と森と海のつながり、生活へのつながりを学びます。

【目的】 川と森と海と生活のつながりを理解し、川の状況が生活へ影響することに気づく。

【場所】 君津市亀山地区 【実施時間】 3時間～3時間半

【受入態勢】 1クラス(35人まで)に1人の指導者

※同時に2クラスまで対応可

【体験内容】

- ・川の生き物観察、指標生物調査、構造物見学
- ・リバークリーン
- ・川と生活のつながりから水環境を守るために何ができるか考える

適期:6～9月

【スケジュール例】

時間	内容	詳細
30分	準備	・着替え ・ライフジャケット、ヘルメット合わせ
25分	あいさつ・概要説明	・川と森と海のつながりについて
70分	川での活動(川探検) リバークリーン	・川のきれいさ、人とのつながりを見る ・生き物観察・川の清掃、ゴミ拾い
25分	移動	・片倉ダムの機能、川と生活のつながり ・海と川のつながり
40分	まとめ・片付け	・水環境を守るために何ができるか ・着替え、片付け



※荒天時、室内でスライドショーを用いた「環境教育プログラム」を実施することも可能です。

チームビルディング ～私もあなたも大切にしよう～



プログラム写真

自分の考えを相手に伝えること、相手の考えを受け入れること。そこには、互いを尊重するという確かな信頼関係が必要です。遊びや体験を通して、自己表現や相互理解の大切さを体感します。

【目的】 自己肯定感及び他者への思いやりの気持ちを育む。仲間との信頼関係を築く。

【場所】 南房総市大房岬自然の家、君津亀山青少年自然の家

※学校や社会体育施設等へ出張可能

【実施時間】

2時間～3時間(それ以上の場合は要相談)

【受入態勢】1グループ(12～15人)に1人の指導者

※内容に応じて対応いたします

【体験内容】

- ・アイスブレイクゲーム
- ・課題解決型ゲーム
- ・オリエンテーリング系チームビルディング

※先生方との事前打ち合わせ後、ご要望やクラスの雰囲気に応じた内容で実施します。

※天候に合わせて、屋外及び室内での実施が可能です。

※エLEMENT(アスレチックのような器具)を使用したプログラムも可能です。ご相談ください。

【SDGsとの関連性】



「4.質の高い教育をみんなに」持続可能な社会を作っていくため、自分たちには何ができるか?という問いのもと、自分や仲間の個性や強みを理解し、互いに高めあうことができる。



「10.人や国の不平等をなくそう」“自分と相手は違う”という前提を理解したうえで、多様性を認め合い、互いに尊重されるべき存在であることを感じる。



「17.パートナーシップで目標を達成しよう」それぞれの立場や置かれている状況を思いやり、共に協力しながら大きな課題にもチャレンジすることができる。



自然災害に備える

～生き残りの「居」「炉」「刃」を身につける～



プログラム写真

地球温暖化によって、台風の巨大化などの自然災害が増えています。そのような環境下において、私たちは常に「もしも」に備えなくてはなりません。いざという時に、自分も他者も救うための必要なスキルを学びます。

【目的】自然災害が発生した時に助けになるスキルを身につける。自然環境と生活のつながりについて学ぶ。

【場所】南房総市大房岬自然の家、君津亀山青少年自然の家

※学校や社会体育施設等へ出張可能

【実施時間】2時間半～3時間

【受入態勢】1クラス(35人まで)に1人の指導者

【体験内容】

- ・「居」…ロープワークを学び、簡易的なシェルターを作る
- ・「炉」…火を育てる
- ・「刃」…刃物の扱いを学び、木を加工する(箸作り等)

※人数に応じてグループごとにも選択も可能です。

【SDGsとの関連性】



「12. つくる責任 つかう責任」道具を大切に正しく使うことを学び、身近なものを利用して「つくる」ことで、モノに対する責任を持つ。



「13. 気候変動に具体的な対策を」気候変動によって増えつつある自然災害に対して、自分は何が備えられるかを考える。「もしも」の時に命を守るスキルを学ぶ。



「15. 陸の豊かさも守ろう」自分の生活が森林によって支えられていることを学び、森林の持続可能な運営について考える。



様々な体験活動のサポートが可能です。まずはお気軽にご相談ください！



#SDGs

#ESD

#地域交流

#教育旅行

#自然体験

私たち、千葉自然学校とは

体験活動を通じ「だれもが人生を豊かに生き、支え合う力を育む」「地域の資源を保全・活用し、次代に引き継ぐ」「ネットワークを充実し、地域の活性化をめざす」をミッションに、子供から大人まで、多くの人々に自然体験活動を提供しています。海、森、川、アウトドアスキル、人材育成プログラムに長けたプロの指導者が皆様の活動をサポートいたします。

【お問い合わせ・ご連絡はこちらまで】



NPO 法人 **千葉自然学校**

窓口：南房総市大房岬自然の家

〒299-2404

千葉県南房総市富浦町多田良1212-23

TEL 0470-33-4561

FAX 0470-33-4564

Mail taibusamisaki@chiba-ns.net



千葉自然学校HP



大房岬自然の家HP

